

# 子どもたちとの交流から学ぶ ～ようこそ、金沢星稜大学へ!～

団体名●金沢市立小坂小学校2年生芥川フィールド  
代表者名●芥川元喜（人間科学部こども学科・准教授）

## はじめに

金沢市立小坂小学校とは、担当ゼミナール2年生の「学校インターンシップ」、3年生「こどもフィールド演習」のフィールド校としてもここ数年、継続した連携活動をさせて頂いている。今回は、担当ゼミナール3年生で、小坂小学校2年生の子どもたちと交流を行った活動を紹介する。

## 活動内容

小坂小学校の2年生・生活科「町たんけん」の学習で、本学に興味・関心を持った子どもたちが本学に来学し、大学生が大学案内をした活動である。

### 1. 事前の活動

子どもたちにとって本学は小坂小学校の校区にあり、通学途中に校舎の前を通る子どもたちも多いということで、毎年、本学に興味・関心を持つ子どもたちがいてくれる。そうした子どもたちが事前の学習で、本学に関する質問（聞きたいこと・調べたいこと）を考え、担当の先生が届けて下さった。その質問に学生が答えるため、内容について調べる活動から始まった。

小学生と交流活動を行う、筆者が担当する3年生こどもフィールド演習を受講する学生は6名いる。この6名は同時に、小坂小学校の授業サポート学生としても活動している。

子どもたちからは、「金沢星稜大学はいつできたのですか」、「金沢星稜大学には何人の学生がいるのですか」のような本学に関わる質問や、「大学生は何時間目まで勉強するのですか」、「お昼は、給食はあるのですか」という、大学生の生活に関わる質問まで、多くの質問が届いた。学生は子どもたちからの一つひとつの質問に目を通し、その内容の答えを探し、どのように子どもたちに伝えるかを考えた。小学校教員を志望する学生も多いため、小学校2年生にどのように伝えたら分かりやすく伝わるのか、話し合った。その結果、分かりやすく伝わるように写真と動画を活用した、パワーポイントを作成することにした。各

質問に答える担当者を決め、その各担当者がパワーポイントを作成した。完成してからゼミナールでリハーサルを繰り返し、スライドの言葉や、伝える言葉について全員で確認し、小学校2年生に分かりやすい伝え方について話し合い、考えた。リハーサルも何度も繰り返し、本学に来校する2年生の学びにしっかり貢献したい、という思いを強く持ってくれているように感じた。

### 2. 活動当日

10月18日(水)に本学で交流活動を行った。本学に興味・関心を持った子どもたち約20名と、引率の先生が来校した。約20名は2グループに分かれて活動した。はじめに、本学の正面玄関でお迎えをした。そこで、学生が挨拶をし、本日の交流の流れを説明した。次に、子どもたちを本館に案内した。子どもたちは大きな講義室に入って、大学の教室の広さや机や椅子が小学校とは異なることを実感し、早速、メモにとる子どももいた。



#### (1) 子どもたちからの質問に答える交流の時間

講義室では、2つのグループに分かれて、子どもたちから事前に出されていた質問について、大学生が答える形で進めた。質問者の子どもも決まっており、子どもたちは自分の質問をしっかりと自分の言葉で大学生に伝えてくれていた。また、子どもたちは大学生の答えをしっかりと記録していたので、子どもたちが記録を書く時間を保障しながら、子どもを待つ、ということも意識できていた。また、学生のお昼ご飯についての質問では、学生は学食で好きなメニューを



選んで食べていると答えた。ここでは、学生の制作した実際の学食の様子動画を見て、子どもたちからは驚きの声が聞かれた。最後まで、大学生の伝える言葉を興味津々と聞いてくれた。

## (2) 大学見学・授業見学の様子

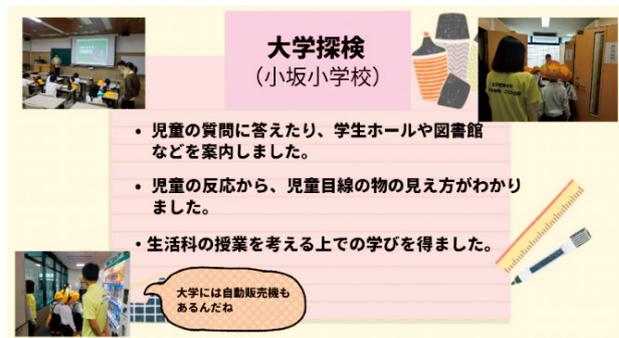
質問タイムの交流の後には、大学の校舎を学生が案内した。子どもたちは大学で働く人のことも質問し、興味・関心を持っていたので、大学で働く人たちの様子を見るために、大学事務局をガラス越しに見学してもらった。(写真：大学案内の様子)



## 成果・結果の考察

実際の小学校の生活科の学習に関わり、交流し、学べたことは貴重な体験となった。この活動後の振り返りにおいても学生たちは、子どもたちへの声の掛け方や、一斉指導の進め方など、実践的な学びとして多くことを学んでいた。実際に、12月に行われた学

科の活動報告会のなかでもこの活動を紹介し、自分たちの学びを報告していた(写真：実際の報告会のパワーポイント)。



活動後には子どもたちからのお礼の手紙を小坂小学校の先生が届けて下さった。子どもたちからは大学構内を見学できた喜びや、質問内容に答えてくれたお礼が丁寧に記されていた。学生はゼミの時間に子どもたちからのお礼の手紙をじっくり読んだ。読みながら「嬉しい!」と声に出す学生もいた。学生みんなが笑顔になり、子どもたちの学習に少しでも役に立てたという喜びと実感を共有できる時間となった。今後もこうした地域の子どもたちのためにできる活動を継続して実施していきたい。



活動の最後には子どもたちから学生に直接、御礼の言葉を伝えてもらった(写真)。